

## 第 63 回春季日本歯周病学会学術大会共催セミナーアンケート

### ご質問

環境改善（診療時間の短縮）はスタッフにとっては大変ありがたいことですが、実際には仕事帰りの 18 時以降や土曜日の予約患者が多く、予約が取りにくくなっているのが現状です。またその時間帯の患者さんは働き盛りの壮年期の方が多く、歯周管理の必要度も高いです。お互いにとって良い方法、解決策があればご教示お願いいたします。

### 回答

夕方や土曜日に、予約が集中してしまい、労働時間の短縮は難しいという内容のご質問でした。

まず、日本という国の状況を理解するところから始めなければなりません。

実は、超高齢社会という問題と共に、生産年齢人口の減少は、国の存続をかけて重要な問題です。

2007 年から内閣府においては仕事と生活の調和憲章を打ち出し、ワークライフバランスを謳うようになりました。

2016 年には一億総活躍推進プランが、また 2017 年に人生 100 年時代構想推進室が設置され、2019 年からは働き方改革関連法が順次施行されています。

そのため、日本人の働き方はずいぶんと変わってきました。

定年時にやっておけばよかったとの調査に「歯の治療や検診を受けておけばよかった」が一位となった報告が出たこともありましたが、まさしく、時代は 100 歳まで生きることを意識した生活に変わってきています。

その中で、固定観念をもって、「夕方しか来られない」、「土曜日しか来られない」と、考えるのは、一個人の意識であるのかもしれませんが。

変革を進めてきている歯科医院は、患者さんのためでもあり、よき医療を提供するためには自分たちの労働環境が大切と意識しています。

私共医療職種が疲弊して、いい治療が提供できるわけがありません。

厚生労働省が推進している「医療分野の「雇用の質」向上のための勤務環境改善マネジメント導入の手引書」を読んでみてください。

きっと、少しずつでも地域のために私たちができることを見出すことができるはずです。